

7) リハビリテーション専門職（理学療法士）

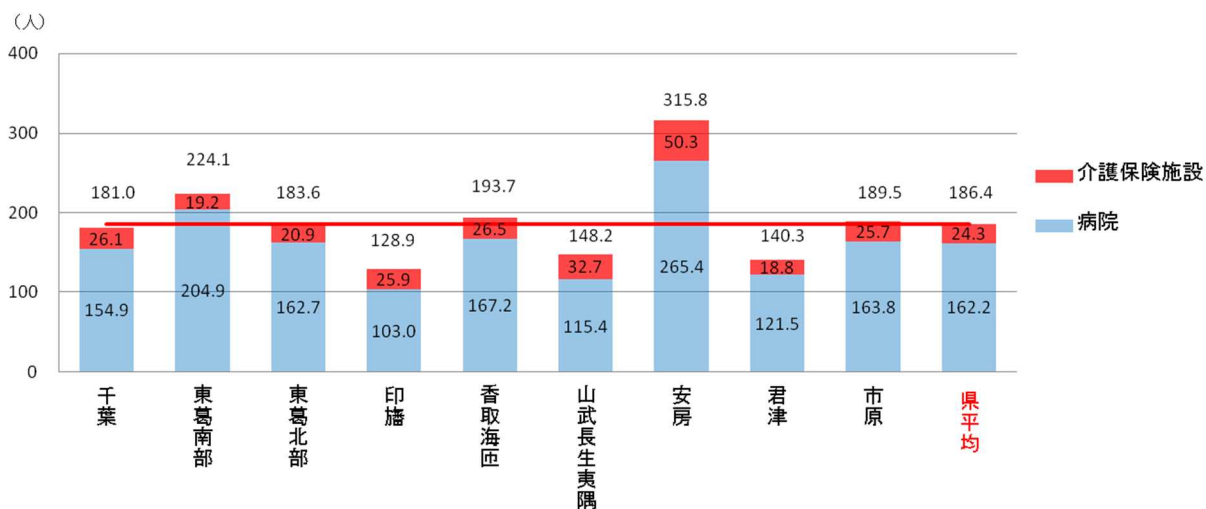
圏域別の理学療法士数（病院及び介護保険施設従事者数（常勤換算）の合計）は、平成27年度時点で、東葛南部で802.9人と最も多く、最も少ない君津の120.0人の約6.7倍となっている。また、65歳以上人口10万対理学療法士数は、安房で315.8人と最も多く、最も少ない印旛の128.9人の約2.4倍となっている。（表3-7、図3-24）

表3-7 理学療法士常勤換算従事者数

（単位 人）

保健医療圏	病院		介護保険施設		合計	
	従事者数	65歳以上10万対従事者数	従事者数	65歳以上10万対従事者数	従事者数	65歳以上10万対従事者数
千葉	342.6	154.9	57.7	26.1	400.3	181.0
東葛南部	734.2	204.9	68.7	19.2	802.9	224.1
東葛北部	520.2	162.7	66.8	20.9	587.0	183.6
印旛	171.0	103.0	43.0	25.9	214.0	128.9
香取海匝	145.2	167.2	23.0	26.5	168.2	193.7
山武長生夷隅	153.8	115.4	43.6	32.7	197.4	148.2
安房	129.7	265.4	24.6	50.3	154.3	315.8
君津	103.9	121.5	16.1	18.8	120.0	140.3
市原	111.4	163.8	17.5	25.7	128.9	189.5
県計	2412.0	162.2	361.0	24.3	2773.0	186.4

図3-24 65歳以上人口10万対理学療法士数



（病院の従事者数：病院報告（H25年10月1日現在）、介護保険施設の従事者数：介護サービス施設・事業所調査（厚生労働省）（H25年10月1日現在）、高齢者人口：千葉県年齢別・町丁字別人口（H26.4.1現在）をもとに作成）

8) リハビリテーション専門職（作業療法士）

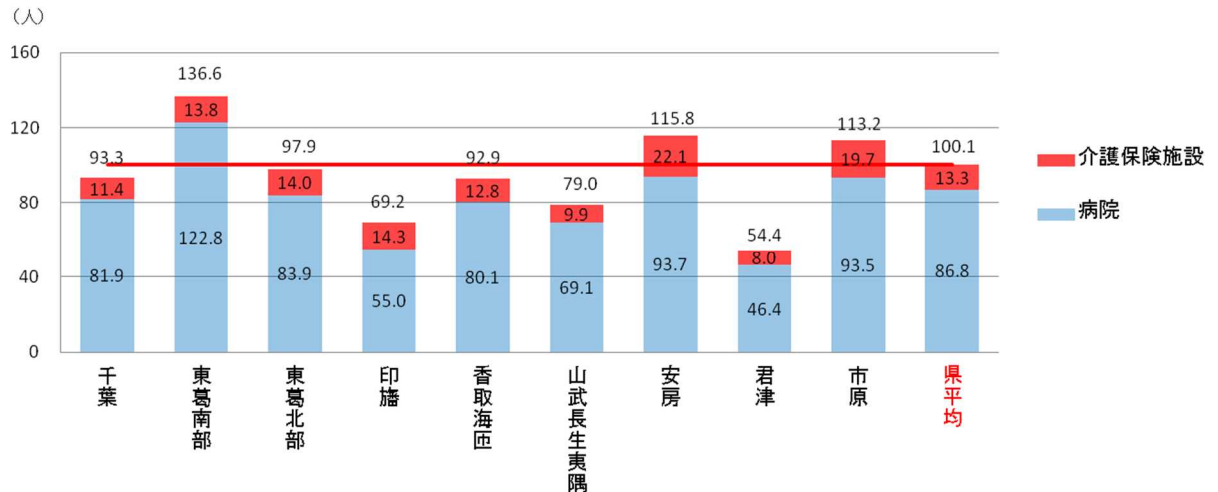
圏域別の作業療法士数（病院及び介護保険施設従事者数（常勤換算）の合計）は、平成27年度時点で、東葛南部で489.3人と最も多く、最も少ない君津の46.5人の約10.5倍となっている。また、65歳以上人口10万対作業療法士数は、東葛南部で136.6人と最も多く、最も少ない君津の54.4人の約2.5倍となっている。（表3-8、図3-25）

表3-8 作業療法士常勤換算従事者数

（単位 人）

保健医療圏	病院		介護保険施設		合計	
	従事者数	65歳以上10万対従事者数	従事者数	65歳以上10万対従事者数	従事者数	65歳以上10万対従事者数
千葉	181.1	81.9	25.2	11.4	206.3	93.3
東葛南部	439.9	122.8	49.4	13.8	489.3	136.6
東葛北部	268.2	83.9	44.6	14.0	312.8	97.9
印旛	91.2	55.0	23.7	14.3	114.9	69.2
香取海匝	69.6	80.1	11.1	12.8	80.7	92.9
山武長生夷隅	92.1	69.1	13.2	9.9	105.3	79.0
安房	45.8	93.7	10.8	22.1	56.6	115.8
君津	39.7	46.4	6.8	8.0	46.5	54.4
市原	63.6	93.5	13.4	19.7	77.0	113.2
県計	1291.2	86.8	198.2	13.3	1489.4	100.1

図3-25 65歳以上人口10万対作業療法士数



（病院の従事者数：病院報告（H25年10月1日現在）、介護保険施設の従事者数：介護サービス施設・事業所調査（厚生労働省）（H25年10月1日現在）、高齢者人口：千葉県年齢別・町丁字別人口（H26.4.1現在）をもとに作成）

9) リハビリテーション専門職（言語聴覚士）

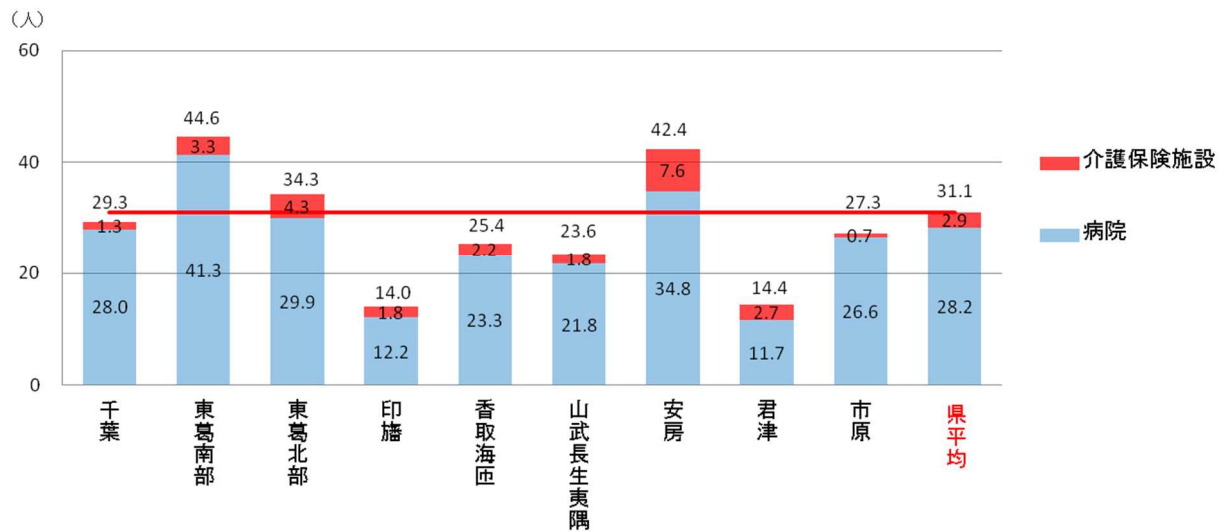
圏域別の言語療法士数（病院及び介護保険施設従事者数（常勤換算）の合計）は、平成27年度時点で、東葛南部で159.9人と最も多く、最も少ない君津の12.3人の約13.0倍となっている。また、65歳以上人口10万対言語療法士数は、東葛南部で44.6人と最も多く、最も少ない印旛の14.0人の約3.2倍となっている。（表3-9、図3-26）

表3-9 言語聴覚士常勤換算従事者数

（単位 人）

保健医療圏	病院		介護保険施設		合計	
	従事者数	65歳以上10万対従事者数	従事者数	65歳以上10万対従事者数	従事者数	65歳以上10万対従事者数
千葉	62.0	28.0	2.8	1.3	64.8	29.3
東葛南部	147.9	41.3	12.0	3.3	159.9	44.6
東葛北部	95.7	29.9	13.9	4.3	109.6	34.3
印旛	20.3	12.2	3.0	1.8	23.3	14.0
香取海匝	20.2	23.3	1.9	2.2	22.1	25.4
山武長生夷隅	29.0	21.8	2.4	1.8	31.4	23.6
安房	17.0	34.8	3.7	7.6	20.7	42.4
君津	10.0	11.7	2.3	2.7	12.3	14.4
市原	18.1	26.6	0.5	0.7	18.6	27.3
県計	420.2	28.2	42.5	2.9	462.7	31.1

図3-26 65歳以上人口10万対言語聴覚士数



（病院の従事者数：病院報告（H25年10月1日現在）、介護保険施設の従事者数：介護サービス施設・事業所調査（厚生労働省）（H25年10月1日現在）、高齢者人口：千葉県年齢別・町丁字別人口（H26.4.1現在）をもとに作成）

10) 圏域別状況のまとめ

これらの地域リハビリテーション関連資源を二次保健医療圏別に比較すると、安房、市原圏域では相対的に資源が豊富であるのに対して、印旛、山武長生夷隅、君津圏域では不足が目立っている。(図3-27)

図3-27 地域リハビリテーション関連資源の圏域別状況

保健医療圏	回復期リハ病棟等施設基準届出医療機関		疾患別リハ料施設基準届出医療機関		通所リハビリ事業所		訪問リハビリ事業所		理学療法士		作業療法士		言語聴覚士	
	65歳以上10万対		65歳以上10万対		65歳以上10万対		65歳以上10万対		65歳以上10万対		65歳以上10万対		65歳以上10万対	
	病床数	対県平均比(%)	施設数	対県平均比(%)	施設数	対県平均比(%)	施設数	対県平均比(%)	従事者数	対県平均比(%)	従事者数	対県平均比(%)	従事者数	対県平均比(%)
千葉	284.8	13.3	66.0	18.1	19.9	36.3	6.3	▲1.6	181.0	▲2.9	93.3	▲6.8	29.3	▲5.8
東葛南部	323.2	28.6	52.2	▲3.7	11.4	▲21.9	6.1	▲4.7	224.1	20.2	136.6	36.5	44.6	43.4
東葛北部	241.5	▲3.9	50.4	▲5.5	13.1	▲10.3	6.6	3.1	183.6	▲1.5	97.9	▲2.2	34.3	10.3
印旛	147.6	▲41.3	47.6	▲14.8	10.8	▲26.0	6.0	▲6.3	128.9	▲30.8	69.2	▲30.9	14.0	▲55.0
香取海匝	111.7	▲55.6	65.6	17.4	19.6	34.2	6.9	7.8	193.7	3.9	92.9	▲7.2	25.4	▲18.3
山武長生夷隅	236.4	▲6.0	56.3	0.7	13.5	▲7.5	4.5	▲29.7	148.2	▲20.5	79.0	▲21.1	23.6	▲24.1
安房	309.0	22.9	98.2	75.7	28.7	96.6	12.3	92.2	315.8	69.4	115.8	15.7	42.4	36.3
君津	143.8	▲42.8	45.6	▲18.4	11.7	▲19.9	4.7	▲26.6	140.3	▲24.7	54.4	▲45.7	14.4	▲53.7
市原	364.6	45.0	57.3	2.5	19.1	30.8	8.8	37.5	189.5	1.7	113.2	13.1	27.3	▲12.2
県平均	251.4	0.0	55.9	0.0	14.6	0.0	6.4	0.0	186.4	0.0	100.1	0.0	31.1	0.0

④地域リハビリテーション関係機関調査結果

広域支援センターと地域リハビリテーション関係機関の連携状況及び広域支援センターの事業実施状況等に関する現状と課題の把握のため、行政機関・医療機関等・広域支援センターに対する調査を実施した。

また支援体制の最終目的である“住民”のリハビリテーションに関わる現状と課題の把握のため、ケアプランの作成を通じて患者とリハビリテーションサービス提供機関とを結び付ける役割を果たす介護支援専門員に対し、介護保険リハビリテーションサービスの導入状況等を調査した。

表 3-10 調査対象等

対象		調査期間	調査方法	調査数	回答数	回答率
1) 行政機関	市町村	平成 27 年 1~2 月	書面調査	54	54	100%
	地域包括支援センター			151	142	94%
2) 医療機関等	病院 (回復期リハ病棟・ 地域包括ケア病棟保有)	平成 27 年 3~4 月	書面調査	55	48	87%
	診療所 (リハ科標榜)			493	138	28%
	介護老人保健施設			140	53	38%
3) 広域支援センター		平成 26 年 6~10 月	聞き取り調査	9	9	100%
4) 介護支援専門員		平成 27 年 8~9 月	書面調査	545	508	93%
				※「平成 27 年度千葉県介護支援専門員専門研修事業 専門研修過程Ⅱ (2 回目以降の更新)」及び「平成 27 年度千葉県主任介護支援専門員研修」受講者に調査票配付		

1) 行政機関の結果概要

○リハビリテーション関連職の配置状況

リハビリテーション専門職の配置のある市町村は、理学療法士で約4割、作業療法士で約2割、言語聴覚士で約3割であり、千葉、東葛南部、東葛北部、印旛、山武長生夷隅、市原の5圏域に分布していた。(表3-11)

一方、リハビリテーション専門職の配置のある地域包括支援センターは、山武長生夷隅圏域の1カ所のみであった。(表3-12)

表3-11 市町村のリハビリテーション関連職の配置状況

医療圏	圏域別市町村数	リハビリ関連職が配置されている市町村数						その他職種等
		理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	歯科衛生士	看護師	その他	
千葉	1	1		1				
東葛南部	6	6	5	4	5	3	3	物理療法士、心理発達相談員
東葛北部	5	4	3	3	2	3	2	心理相談員、視能力訓練士
印旛	9	6	2	5	6	3	2	保健師、管理栄養士
香取海匝	7				2	2		
山武長生夷隅	17	1			3	2	1	保健師
安房	4							
君津	4				2			
市原	1	1	1	1	1	1		
計	54	19	11	14	21	14	8	

表3-12 地域包括支援センターのリハビリテーション関連職の配置状況

医療圏	圏域別包括数	リハビリ関連職が配置されている包括数						その他職種等
		理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	歯科衛生士	看護師	その他	
千葉	22				1	11	3	保健師、主任介護専門員
東葛南部	29				1	10	4	保健師
東葛北部	27				1	9	1	保健師
印旛	17					8		
香取海匝	8							
山武長生夷隅	19		1				1	保健師
安房	6					1		
君津	9					2	2	保健師
市原	5					2		
計	142	0	1	0	3	43	11	

○広域支援センターとの現在の連携状況

広域支援センターと連携を図っている行政機関は、市町村で約2割、地域包括支援センターで約3割であった。広域支援センターと連携を図っている市町村数は平成19年の調査時より増加した一方で、広域支援センターの名前を聞いたことがない市町村数も増加していた。(図3-28)

またその連携内容としては、市町村、地域包括支援センターともに「連絡協議会」への参加が最も多かった。(図3-29)

一方、広域支援センターとの連携を図っていない市町村、地域包括支援センターの理由には、「連絡を図る場や仕組みがない」が最も多かった。(図3-30)

図 3-28 広域支援センターとの現在の連携状況

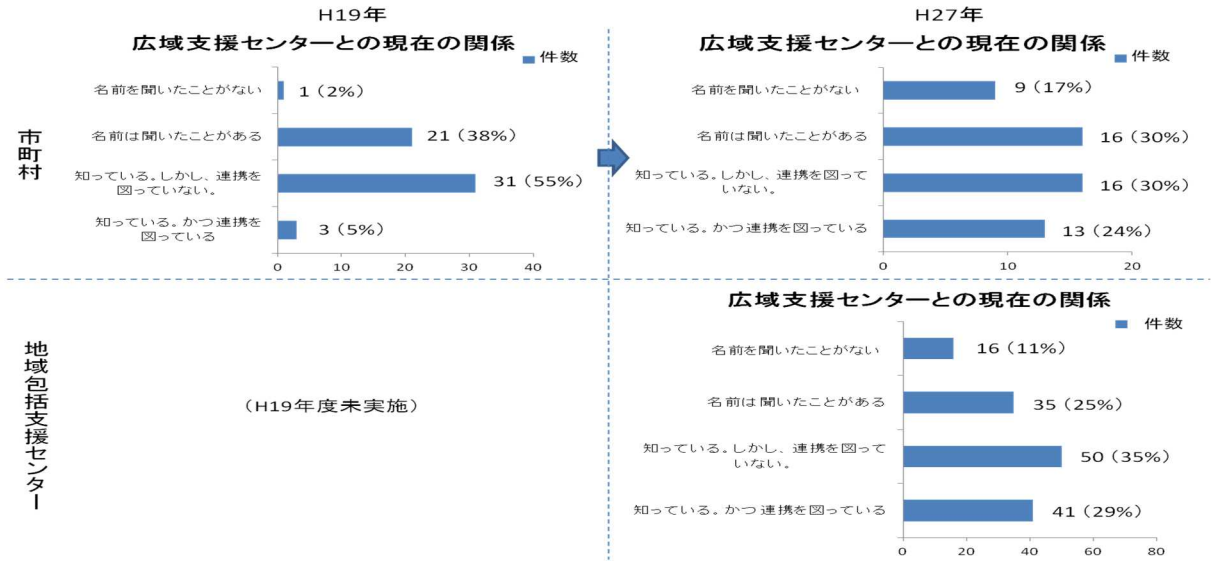


図 3-29 広域支援センターと実際連携したことがある内容

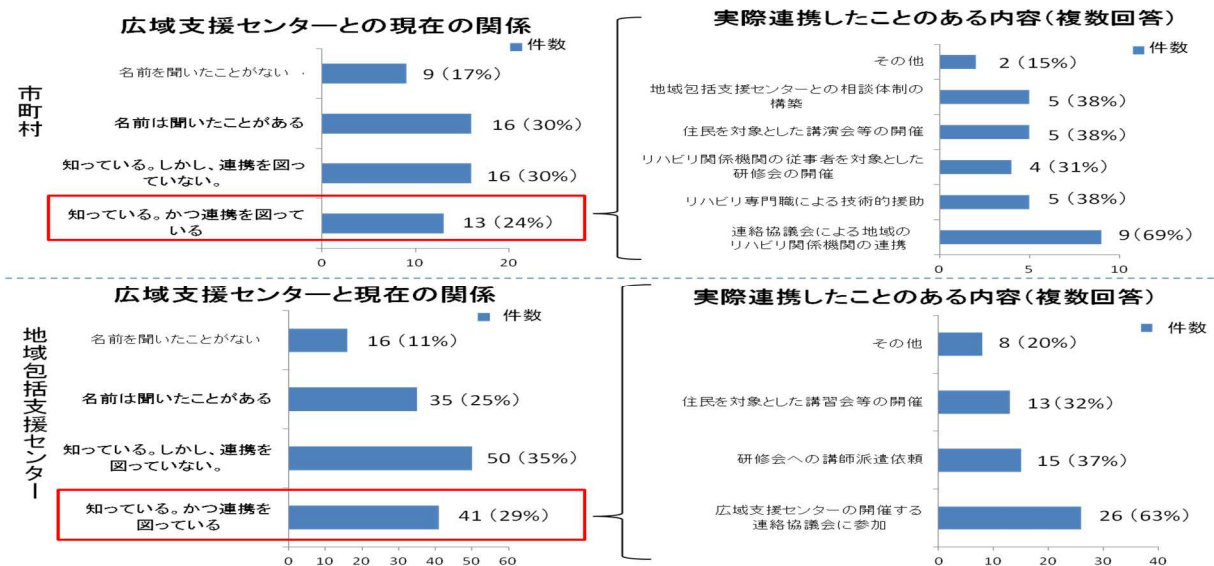
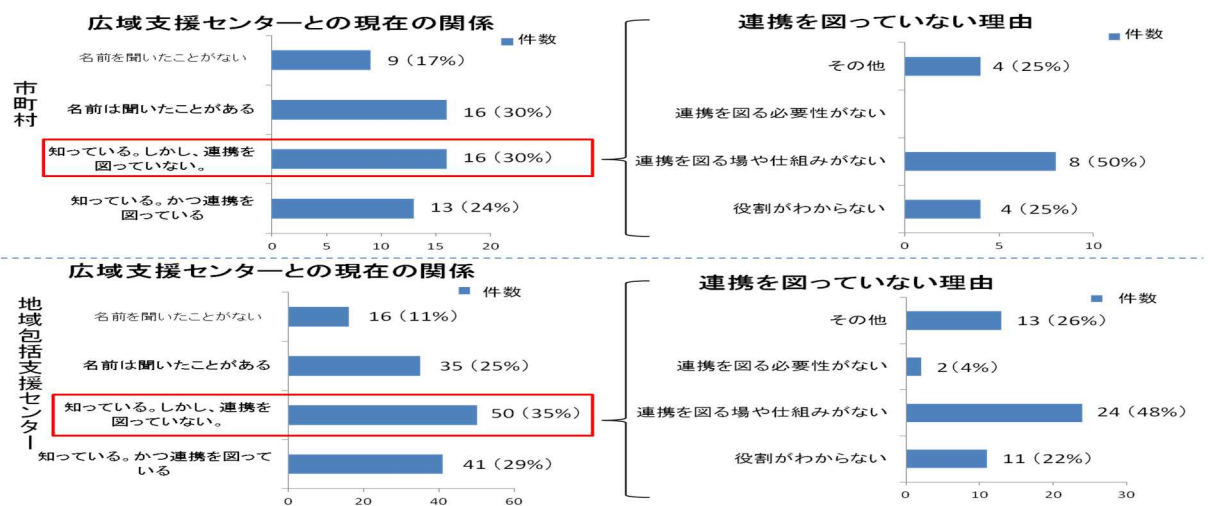


図 3-30 広域支援センターと連携を図っていない理由



○広域支援センターとの今後の連携の必要性

広域支援センターとの今後の連携の必要性を「感じる」又は「やや感じる」と回答した市町村は約7割、地域包括支援センターは約9割であり、リハビリテーション専門職の専門性を活かした支援への期待が高かった。(図3-31)

一方で、広域支援センターとの連携の必要性を「感じない」又は「あまり感じない」と回答した行政機関の理由には、市町村では「リハビリについて学習する機会があるから」、地域包括支援センターでは「相談できる機関があるから」が最も多かった。(図3-32)

図3-31 広域支援センターとの今後の連携の必要性と期待する連携内容

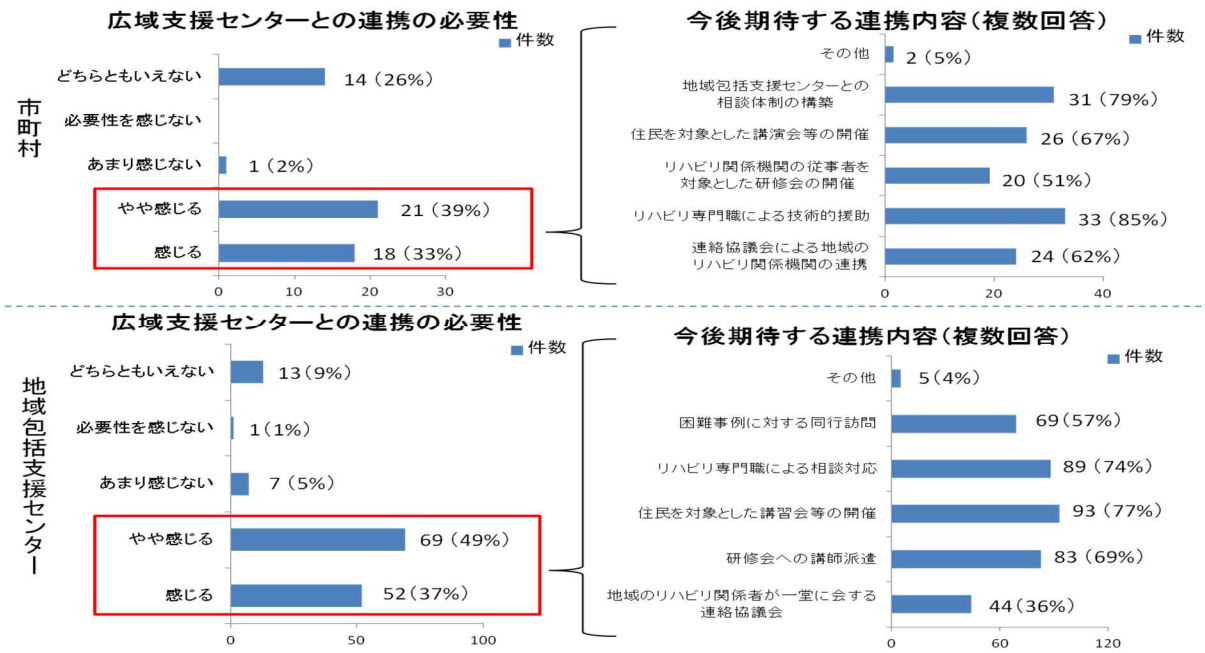


図3-32 広域支援センターとの今後の連携の必要性を感じない理由

